

Searcher Version 1.08

取り扱い説明書

目次

目次	2
マニュアル変更履歴	5
ソフト変更履歴.....	6
このソフトについて	9
このソフトの目的	9
このソフトの特徴	9
評価版の制限.....	9
このソフトの概要	10
簡単検索（最も省略された検索手順）	10
通常検索（検索条件を指定する手順）	10
検索結果への操作（探したあと何ができるのか？）	11
利用準備・1 はじめに	12
インストール時の手順.....	12
インストール後に行う諸設定.....	12
設定方法（設定画面への遷移方法）	12
利用準備・2 フォルダ・セット編集.....	13
フォルダ・セットとは（前提および用語の説明）	13
早速編集しよう（最短操作説明）	13
フォルダ・セットの追加	14
検索対象フォルダの追加・1（ダイアログで単一選択）	15
検索対象フォルダの追加・2（クリップボードから一括コピー）	15
検索対象フォルダの追加・3（登録済みパスの下位を展開登録）	16
編集の確定.....	17
ヒント（すばやい検索結果を得るコツ）	17
概念	17
説明図.....	18
注意事項など	18
利用準備・3 環境設定	19
はじめに.....	19
設定できる内容	19
画面写真	19
呼び出しキー	19
フォーカス位置	20
検索条件の自動補完	20

自動クローズ・1（開く際の自動クローズ）	20
自動クローズ・2（削除の際の自動クローズ）	20
反映方法	21
キャンセル方法	21
検索について	22
通常検索	22
フォルダ・セット	22
検索条件ファイル名	22
デフォルト・フォルダ・セット変更	23
検索開始ボタン	23
キャンセルボタン	23
簡単検索	23
簡単検索・通常検索の共通事項	24
検索条件ファイル名について - 検索条件の概要	24
注意事項	24
検索結果について	25
画面の説明	25
メニューの概要	25
安全対策状態について	25
検索結果画面で出来ることの詳細	26
開く・開いて検索結果を閉じる	26
印刷・印刷して検索結果を閉じる	26
フォルダをエクスプローラで開く	26
送る	27
コピー・切り取り	27
（フル）ファイル名のコピー	27
削除	28
最新表示・再検索	28
各列の内容でソート	28
列位置・列幅保存（初期化）	28
検索結果ウィンドウへの操作	28
ドラッグ&ドロップ	29
フォルダ・セット編集について	30
フォルダ・セットの編集	30
フォルダ・セット一覧	30
ボタン詳細	30
メニュー詳細	31

デフォルトのフォルダ・セット	31
フォルダ・セット内のフォルダ編集.....	31
フォルダ一覧.....	31
ボタン詳細.....	32
メニュー詳細.....	32
フォルダ・パス（下位フォルダ検索）.....	33
フォルダ・セット属性.....	33
連絡先・その他.....	34
免責事項・おことわり・ライセンスについて.....	34
作者への問い合わせ.....	34
連絡先.....	34
最後に	35

マニュアル変更履歴

バージョン	変更箇所	変更内容
初版	全般	新規作成

ソフト変更履歴

バージョン	変更内容
Version	新規作成
Version	<ol style="list-style-type: none"> 1. 通常検索ダイアログに、「Ctrl+数字」によるフォルダ・セットの指定を追加。 2. 検索終了検知のために検索が完了したら進捗バーを非表示に。 3. エクスプローラへのコピー・切り取り、及び削除を実装。 4. ファイル名のコピーを追加実装。
Version RC1	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定画面を実装。 2. スレッドの上限を20に。 3. 結果画面のコピー用ショートカットに「Ctrl+INS」も追加（エクスプローラ基準）。 4. フォルダをエクスプローラで開く、を追加実装。 5. ネットワークファイルなら2重に削除確認するように実装。
Version RC2	<ol style="list-style-type: none"> 1. 設定画面で一括登録を新たに実装。 2. 設定画面のショートカットをほぼ全般的に廃止。 3. 設定画面のフォーカス順番、キーアサイン、キャンセル・確定時の確認追加など細部修正
Version RC3	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検索条件入力画面に「デフォルトのフォルダ・セットを変える」のチェックボックスを追加。 2. 検索結果のメニューに「ウィンドウ」を追加、「次の検索結果へ」などを追加。 3. 検索キャンセルを即時に受け付けるよう修正（HITするまでキャンセルされなかった）。
Version RC4	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検索結果ウィンドウ内でのファイル重複HITは排除するように。 2. 設定の「展開」で元のフォルダを残すか確認するように。 3. 下位サブフォルダの検索を行うかを個別に設定可能に。 4. 環境設定 フォルダ・セット編集に改名。 5. 環境設定を別途作成。ホットキーの切り替えと、通常検索ダイアログで最初にフォーカスが当たる場所を指定可能に。 6. 通常検索時のフォルダ・セット指定をCtrl+0～にしました（1つずれる）。 7. インジゲーター内アイコンのメニュー順序を変えました。

バージョン	変更内容
Version 1.00	<ol style="list-style-type: none"> 1. 検索結果でShiftを押下しながら開くか印刷すると検索結果が自動的にクローズするように（キーボード操作時）。 2. 上記動作の標準を切り替えられるように環境設定に設定を追加。 3. 環境設定やフォルダ・セットを編集する際には全ての検索結果を閉じるように（フリーズ対策）。 4. デフォルトのフォルダ・セットが設定されていない状況で、通常検索をすると検索開始が押下できない場合があるのを修正。 5. WindowsXP スタイルを適用（見た目がXP基準）。 6. これに合わせてコンポーネントのバグ発覚。どうにも対処できないので検索条件補完を「Ctrl+TAB」として自前実装。 7. 評価版制限の実装。フォルダ・セットは3つ、スレッドは2つ。 8. クリップボードの文字列が複数行だったら最初の1行だけをキーワードとして取得するように修正。
Version 1.01	<ol style="list-style-type: none"> 1. XPスタイルは断念。どうもComboBoxの動作が怪しすぎる・・・。 2. Ctrl+TABの補完に合わせて、自動補完復活。環境設定にて動作が選べるように。
Version 1.02	<ol style="list-style-type: none"> 1. 削除した際にリストから該当項目を削除。 削除アニメーションが非同期かと思ったので諦めた。。ヌリ 2. 検索結果上のファイルが全て削除されたら自動クローズするように。 3. 上記2番の設定を環境設定に追加。 4. ドラッグ&ドロップに対応！！！！（コンポーネントの性格からちょっとだけモード切り替えが怪しいけど・・・贅沢言わない） 5. セーフティモード搭載。フォルダ・セット毎に削除・移動（切り取り）が操作不可に出来るように。 6. ファイル操作時にファイルが存在しない場合はリストから除外。 7. ソートをメニューから実施できるように。 8. 再検索（表示更新）を実装。 何度も同じ条件を入力せずともF5だけで再検索可能に！ 9. “エクスプローラで開く”、“フォルダ・セット内のフォルダ”を処理する際、それぞれ重複を省くように。
Version 1.03	<ol style="list-style-type: none"> 1. 拡張子を指定した場合の検索ロジックを改良（というかバグ修正）。 ノード部分と拡張子部分でそれぞれ文言含有検索するように。 2. バージョン番号をタスクトレイのアイコンに対するヘルプで表示するように。
Version 1.04	<ol style="list-style-type: none"> 1. 列幅・列位置を変更・保存可能に。 2. 更新日時・画面再描画を高速化。

バージョン	変更内容
Version 1.05	1. 「送る」を自前実装（自前ゆえ特殊ショートカットには非対応 orz）。
Version 1.06	1. 環境設定にキャンセルボタン配置・・・(苦情が・・・ええ・・・)。 2. スレッドの上限を30に変更
Version 1.07	1. 検索履歴の消去をメインメニュー(インジゲータ・アイコンの右クリックメニュー)に追加
Version 1.08	1. 送るにバグ発覚。存在しない送り先のショートカットのアイコンを取得しようとしてエラーが出る。 送るリストにはアイコンなしで登録するが、送る時に存在するなら送れるように対処。リムーバブルドライブなどが該当（主に Win2k）。

このソフトについて

このソフトの目的

- ✚ 予め決めておいた複数のフォルダに対して一度にファイル検索を行いたい！
- ✚ 検索条件となるファイル名はクリップボードへコピーして直ぐ検索したい！
- ✚ 常駐させておいて、いつでも直ぐ（1アクションで）検索したい！
- ✚ 検索結果がすばやく欲しい！（動作が遅いのは嫌！）

という要望を充たすべく作成しました。と言うのも、私が今まで携わってきた仕事では、その関連資料が細かく分かれていることが多く、その文章中に出てくる文言を頼りに別の文章ファイルを検索することが多かったからです。

つまり、ある文書を開いて読み進めていくと別の文章を開きたくなるのですが、その文章は別のフォルダに格納されているので、文章中の文言をコピーして、その文言を頼りにフォルダに対して文章検索をしてから開く、といった作業の繰り返しなのです。

予め決められた場所に対して、限定されたファイル名検索をすばやく行うことが目的なので、豪華な検索条件（更新日での範囲限定や複数キーワード指定、正規表現検索など）は備えていません。ですが上記の要望を最大限に叶えるべく最適化してあります。

このソフトの特徴

- ✚ 常駐することで（条件が整えば）1ストロークによる検索開始が可能！
- ✚ 複数のフォルダをマルチスレッドで同時に平行検索するので超高速！
- ✚ 予め登録しておく検索対象のフォルダは「フォルダ・セット」というグループとして複数登録可能！
- ✚ 検索結果は文章を開くと自動的に閉じるモードと、複数の検索結果を全て閉じる操作とがあり、検索した後も煩わしさゼロ！
- ✚ 残念ながらGREP機能は現バージョンでは搭載していません（Ver 2 搭載予定）。

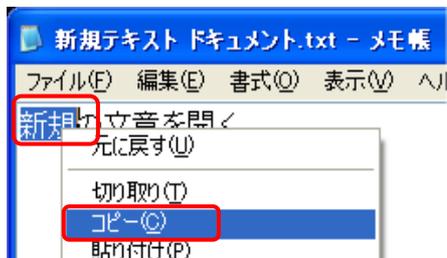
評価版の制限

- ✚ 通常検索（後述）時に指定できるフォルダ・セット（後述）が最初の3つまでとなります（ただしデフォルトのフォルダ・セットは任意に指定できるので最大4つまで）。
- ✚ スレッド稼働数が最大で2つに制限されます。フォルダ・セットに対して登録しているフォルダが多数あると不利になります。
- ✚ 上記以外の制限はありません。

このソフトの概要

簡単検索 (最も省略された検索手順)

- 最初に文章中のファイル名検索条件となりうる文言をクリップボードへコピーします。



お勧めは「Ctrl+C」です...絵が欲しいんで(^.^;

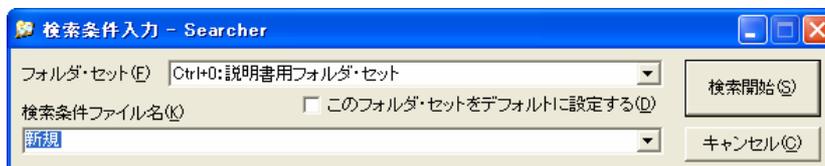
- 次にキーボードの「PAUSEキー」を押下します。そうするとデフォルトに設定されているフォルダ・セット(検索対象フォルダの集まり)に対して検索を開始します。



- 以上で検索完了です。この場合、「説明書用フォルダ・セット」という名前で登録しておいたフォルダ・セット内のフォルダに対して「新規」というキーワードをファイル名に含むファイルを検索しました。

通常検索 (検索条件を指定する手順)

- キーボードの「PAUSEキー」を「SHIFTキー」を押しながら押下します。すると検索条件を指定するダイアログが表示されます。



- このダイアログにて検索条件を指定します。検索条件として指定できるのはフォルダ・セット(評価版では3つまで)とファイル名の中に含まれるであろう文言です。

- 「検索開始」ボタンをクリックすると検索が開始されます。



- 以上で検索完了です。

検索結果への操作(探したあと何ができるのか?)

- 以下は右クリックメニューです。

開く(O)	Enter
開いて検索結果を閉じる(Q)	Shift+Enter
印刷(P)	Ctrl+P
印刷して検索結果を閉じる(W)	Shift+Ctrl+P
フォルダをエクスプローラで開く(E)	Ctrl+E
送る(N)	▶
コピー(C)	Ctrl+C
切り取り(T)	Ctrl+X
フルファイル名コピー(F)	Ctrl+F
ファイル名コピー(Z)	Ctrl+N
削除(D)	Shift+Del

- 【開く】関連付けされたアプリケーションで開きます。
- 【開いて検索結果を閉じる】上記動作を完了後、検索結果を閉じます。
- 【印刷】関連付けされたアプリケーションで印刷します。
- 【印刷して検索結果を閉じる】上記動作を完了後、検索結果を閉じます。
- 【フォルダをエクスプローラで開く】検索したファイルが保存されているフォルダをエクスプローラで開きます。
- 【送る】エクスプローラの「送る」です(特殊な送り先は非対応)。
- 【コピー】ファイルをクリップボードへコピーします。
- 【切り取り】ファイルをクリップボードへ切り取ります。
- 【フルファイル名コピー】ファイルのフルパスを文字列としてコピーします。
- 【ファイル名コピー】ファイル名(フォルダ名部分を省いたもの)を文字列としてコピーします。
- 【削除】ファイルを削除します。ネットワーク上のファイルを含む場合、通常の確認とは別に削除しても良いかの確認を余分に行います。

利用準備・1 はじめに

インストール時の手順

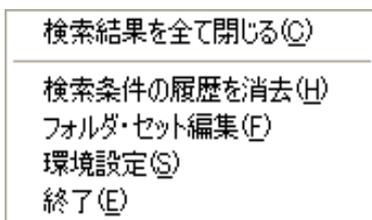
- ✚ インストーラの指示に従ってインストールしてください。
- ✚ 評価版 製品版のアップグレード時は、いったんソフトを終了（後述）してからインストールを行ってください。
- ✚ 評価版 製品版のアップグレード時は、途中で表示される上書きインストールの質問に「はい」を選択してインストールしてください。
- ✚ 設定は全てインストールしたフォルダに保存される「SEARCHER.INI」に保存されています。アプリケーション自体は一切レジストリを操作しません（インストーラが保存するアンインストール情報などは記録される恐れがあります）。

インストール後に行う諸設定

- ✚ インストール後に行う必要がある利用準備は以下の通りです。
 - フォルダ・セット（検索対象とする、複数フォルダの集まり）の編集
 - ホットキー（呼び出しキー）と諸動作の設定

設定方法（設定画面への遷移方法）

- ✚ アプリケーションが起動していると、画面右下のタスクトレイ領域にアイコンが表示されます（アイコン ）のでこれを右クリックします。
- ✚ そうすると以下のようなポップアップ・メニューが表示されるので、設定する内容を選択してクリックしてください。



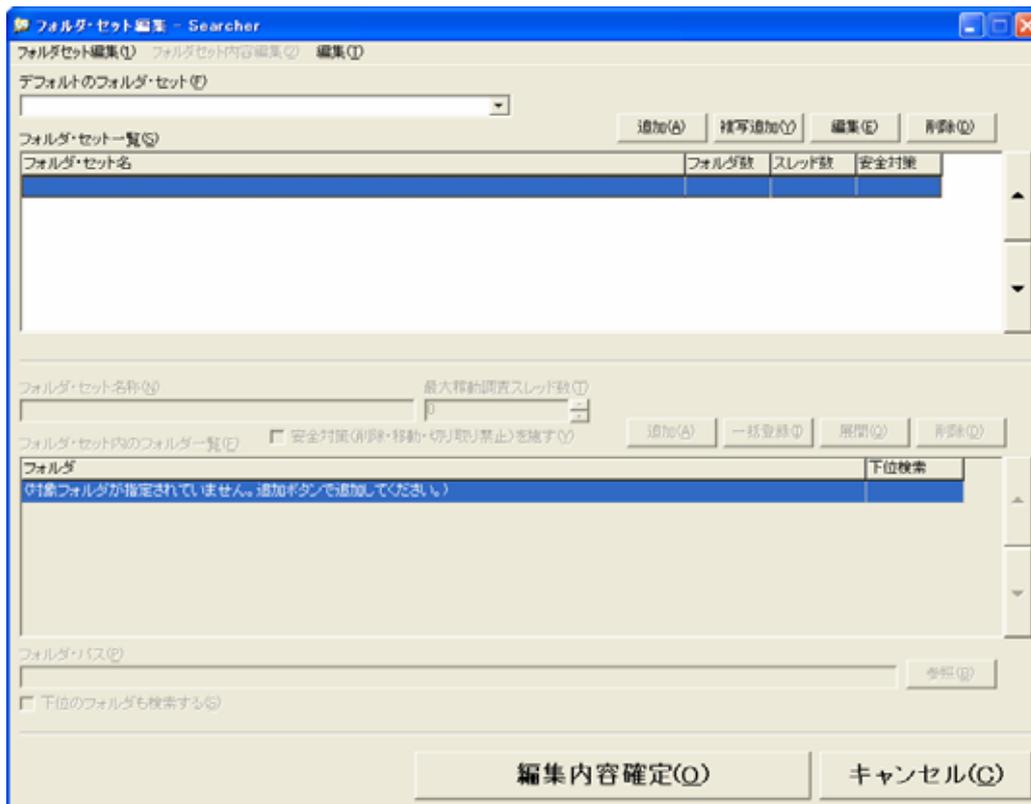
- 【フォルダ・セット編集】フォルダ・セットを編集する画面に遷移します。
- 【環境設定】ホットキーや諸動作の設定を行う画面に遷移します。
- ✚ ついでに、その他の説明をすると...
 - 【検索結果を全て閉じる】検索結果ウィンドウを全て閉じます。
 - 【検索条件の履歴を消去】通常検索時に入力する検索条件ファイル名の履歴を消去します。

利用準備・2 フォルダ・セット編集

フォルダ・セットとは(前提および用語の説明)

- ✚ フォルダ・セットとは、このソフトで取り扱う検索対象の単位です。
- ✚ 具体的には1回の検索で検索対象となる複数のフォルダの集まりのことを指します。
- ✚ フォルダ・セットおよびフォルダ・セット内のフォルダは無制限に登録できます(システムの物理的上限による制限のみ)。
- ✚ このソフトがフォルダ・セットに検索を行う際、フォルダ・セット内のフォルダ1つに対し1つの検索スレッドが実行されファイルを検索します(同時最大30スレッド)。このため設定の仕方によっては非常に高速に結果を得ることが出来ます。
- ✚ スレッドとは...検索ソフトが30本同時に実行されていると思ってください。

早速編集しよう(最短操作説明)



- ✚ 上半分がフォルダ・セットの一覧。下半分が選択したフォルダ・セット内のフォルダの一覧です。順に説明していきます。

フォルダ・セットの追加

- まず空のフォルダ・セットを追加します。フォルダ・セット編集用ボタンが4つありますので「追加」ボタンをクリックしてください。



- 画面下半分が明るくなり、フォルダ・セットの編集が可能になります。

- フォルダ・セット名称欄に編集するフォルダ・セットの内容がわかり易い名称を入力してください。検索条件としてはこの名称しか表示されないなので結構重要です。

- 最大稼働調査スレッド数は通常ゼロで構いません（最大数指定となる）。ただしネットワークドライブを多数の方が検索する場合は15程度に設定することを推奨します。

- 次に安全対策を設定します。安全対策とはこのフォルダ・セットで検索されたドキュメントなどに対して削除・移動・切り取りの操作を禁止することを言います。サーバなどの共有スペースに保管された文書などを対象にする場合は対策を行った方が良いでしょう。

- 特にドラッグ&ドロップのデフォルトは「移動」です。

ドラッグ&ドロップを多用する人がサーバに対する操作を行う場合は必須でしょう。

あくまでも **Searcher 内部の操作における削除操作の禁止**です。

ドラッグ&ドロップ（送る）した先のアプリケーション動作までは保障しません。

同様に開く、印刷する、で指定されたアプリケーションの動作までは保障しません。

検索対象フォルダの追加・1(ダイアログで単一選択)

- ✚ フォルダの行を新規に追加します。フォルダ編集用ボタンが4つありますので「追加」ボタンをクリックしてください。



- ✚ 空行が追加されるので「参照」ボタンをクリックしてください。



- ✚ フォルダ選択ダイアログが表示されます。



ネットワークドライブの表示には向きません。

- ✚ フォルダを選択して「OK」ボタンをクリックしてください。



フォルダのパスが登録されます。

検索対象フォルダの追加・2(クリップボードから一括コピー)

- ✚ 登録したフォルダのパスをクリップボードへ文字列としてコピーします。



囲いの文字をコピー

- ✚ 「一括登録」ボタンをクリックしてください。
改行コードで区切られた複数行でもかまいません。

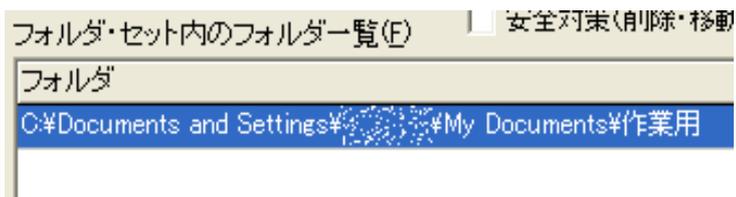


- ✚ フォルダのパスが登録されます。



検索対象フォルダの追加・3 (登録済みパスの下位を展開登録)

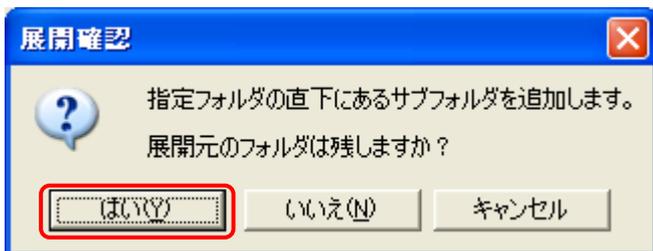
- ✚ 上記いずれかの手順でフォルダのパスを1つ以上登録します。
- ✚ 下位フォルダを展開したいフォルダを選択します。



- ✚ 「展開」ボタンをクリックします。

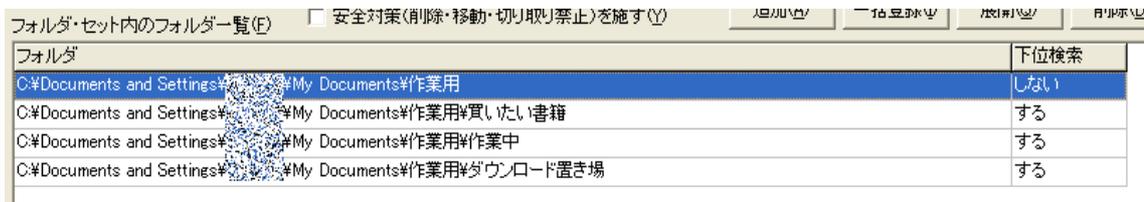


- ✚ ダイアログが表示されます。



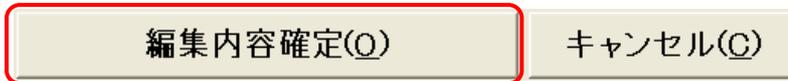
- 【はい】上記で選択したフォルダは残ります。ただし「下位検索」は「しない」になります。
- 【いいえ】上記で選択したフォルダは残りません。新たに検索した下位フォルダだけが追加されます。ただし下位フォルダがない場合は消えません。
- 【キャンセル】動作を取り消します。

- ✚ 展開されたフォルダが登録されます。

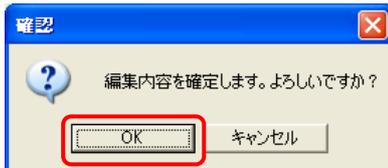


編集の確定

- ✚ 編集内容は確定しないと保存されませんので「編集内容確定」ボタンをクリックしてください。



- ✚ 確定しても良いかを尋ねるダイアログが表示されます。



「OK」ボタンをクリックします。

- ✚ 上記までの説明どおりに操作を進めている場合、この操作は2回行う必要があります。
 - 1回目の編集内容確定で、フォルダ・セット内のフォルダ編集が確定されます。
 - 2回目の編集内容確定で、全体の編集内容が確定されます。
- ✚ 途中で「キャンセル」ボタンをクリックしたり、ウィンドウ・クローズボタン（右上の×印）をクリックしたりすると、編集内容が保存されません。注意してください。

ヒント(すばやい検索結果を得るコツ)

概念

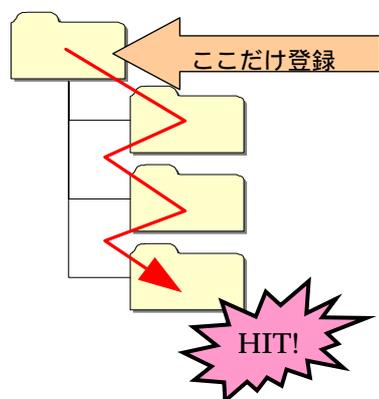
- ✚ このソフトはフォルダ・セット内のフォルダ1つ（上記までの説明に出てきた一覧表1行分）毎にスレッド（ファイル検索ソフトだと思ってください）が実行されます。
- ✚ つまり、なるべくサブフォルダを展開して登録した方が内部を平行して検索できます。
- ✚ よって、フォルダの上位だけを登録するのは余り得策ではありません。
- ✚ イメージとしては、一人が奥深くまで探しに行くより、複数人数でいっぺんに探した方が早い、といったところです。

このフォルダ・セットの設定が一番重要なので、しっかり設定してください。



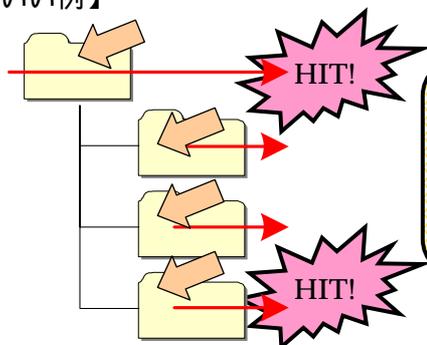
説明図

【悪い例】



下位フォルダまでを1つのスレッド(検索ソフト)が順次に検索していきます。複数のフォルダを1つのスレッドが見ていくので、探し物が奥(下位)にあると探し当てるのに時間がかかります。

【いい例】



それぞれのフォルダを登録しておけば、それぞれのフォルダを対象にスレッドが実行されます。スレッドは平行して実行しています。従って複数のフォルダから同時に探し物が見つかります。

展開ボタンを有効に活用しましょう!

注意事項など

- ただしスレッドが同時に実行される数の上限は30個です。従ってフォルダを30個以上登録すると、先行したスレッドが調査完了になるまで待機します。つまり30個以上の過剰なフォルダ登録は逆に速度低下を招きます。
評価版は2個までとなります。
- よって20~30個程度となるようにサブフォルダの展開を抑え、即結果を返して欲しいフォルダだけ個々に展開しましょう。
- 一覧表の順番でスレッドが登録されます。従ってそのまま優先順位となります。優先したいフォルダは上へ移動させましょう(Ctrlキーを押しながら矢印キーの上下)。
- ネットワークドライブ等の不特定多数の人達が集中してアクセスするようなフォルダを対象に検索する場合、負荷がかかることが予想されますので稼働スレッド数上限は少し下げましょう(10~15程度)。

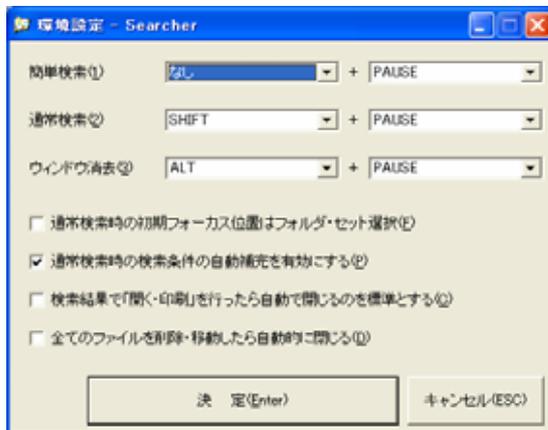
利用準備・3 環境設定

はじめに

この章で説明する内容は好み設定です。設定は行わずとも利用することは出来ますので、とりあえず利用してみたい方は読み飛ばしてもかまいません。

設定できる内容

画面写真



呼び出しキー



- ✚ 簡単検索（最も省略された手順での検索）、通常検索（検索条件を指定しての検索）、検索結果ウィンドウの一斉消去、の3つの機能に対してホットキー（いつでも機能呼び出せる特殊なキー操作のこと）を割り当てられます。
- ✚ それぞれに対して好みの組み合わせを設定してください。
- ✚ ここで設定した内容は、ソフトをいったん終了させないと反映されません。
- ✚ また、複数の機能に同じ操作は割り当てられません。
- ✚ C T R L を含む操作に P A U S E キーは割り当てできません（キーボードの性質による B R E A K となってしまうため判定できない）。

フォーカス位置

通常検索時の初期フォーカス位置はフォルダ・セット選択(F)

- ✚ 通常検索を呼び出した際に、最初に入力できる項目がフォルダ・セット選択なのか、検索条件なのかを選択します。
 - 【ON】「フォルダ・セット選択」を最初に編集できます。
 - 【OFF】「検索条件ファイル名」を最初に編集できます。デフォルトです。

検索条件の自動補完

通常検索時の検索条件の自動補完を有効にする(P)

- ✚ 通常検索での検索条件入力時に、キーワードを入力した時の後続キーワードを、検索条件履歴（最大20個）の中から探して自動的に補完するかを選択します。
- ✚ 自動補完とは別に任意補完（Ctrl キーを押しながら TAB キー）もあります。
 - 【ON】自動補完を有効にします。デフォルトです。
 - 【OFF】自動補完を無効にします。

自動クローズ・1(開く際の自動クローズ)

検索結果で「開く・印刷」を行ったら自動で閉じるのを標準とする(Q)

- ✚ 検索結果からファイルを選択して開く際、キーボードの「SHIFTキー」を押下しながら開く（もしくは「開いて検索結果を閉じる」を選択）と、検索結果が自動的に閉じるのですが、この動作を標準とします（検索結果を閉じたくない場合に「SHIFTキー」を押しながら開くようにする）。
 - 【ON】普通に開くと、その後に検索結果が自動的に閉じます。
 - 【OFF】普通に開いても検索結果は閉じません。デフォルトです。

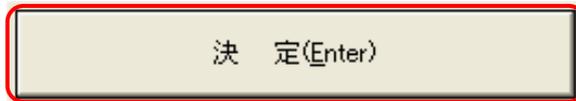
自動クローズ・2(削除の際の自動クローズ)

全てのファイルを削除・移動したら自動的に閉じる(Q)

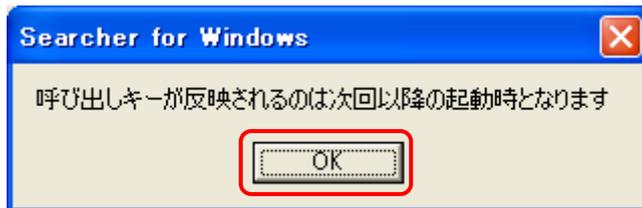
- ✚ 検索結果のファイルを全て削除した際に検索結果を自動的にクローズするかを設定します。
- ✚ 削除時のみ有効です。その他の操作でファイルが存在しなくなったことを理由に検索結果が空になっても検索結果は閉じません（検索結果該当なしの場合含む）。
 - 【ON】全てのファイルが削除されたら自動的に検索結果を閉じます。
 - 【OFF】削除を行っても検索結果は閉じません。デフォルトです。

反映方法

- 編集した内容で良い場合は「決定」ボタンをクリックしてください。



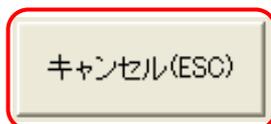
- 確認ダイアログが表示されますので「OKボタン」をクリックしてください。



- 確認ダイアログにもあるとおり、呼び出しキーの反映はソフトを一度終了して再起動しなければなりません。

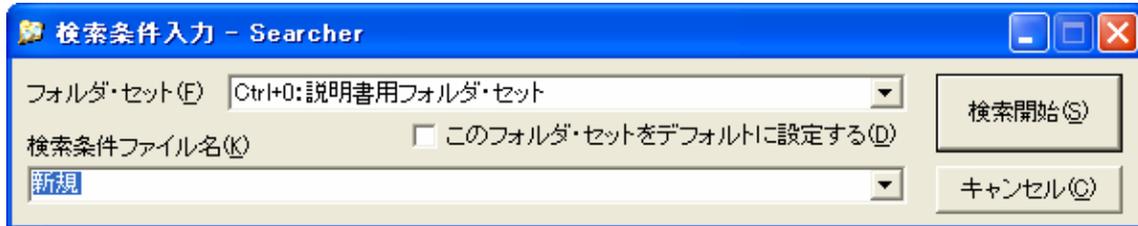
キャンセル方法

- キャンセルボタンをクリックしてください。



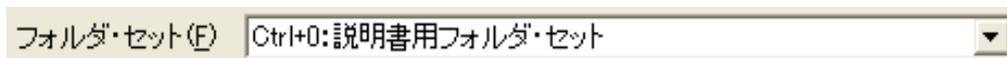
検索について

通常検索



- 上図の検索条件入力ダイアログで条件を指定して検索を行います。
- フォルダ・セットおよび検索条件ファイル名に有効な指定がないと検索できません。
- 環境設定にて操作を変更していなければ「SHIFTキー」を押しながら「PAUSEキー」で実行できます。
- 環境設定での設定によって、表示されたときの初期フォーカス位置が変わります。
詳細は「利用準備・3 - フォーカス位置」を参照。

フォルダ・セット



- ここで指定したフォルダ・セットに含まれるフォルダに対して検索を行っていきます。
- 最初に選択されているのは、デフォルトのフォルダ・セットです。
- 「F4」を押下すると（もしくは右側の をクリックすると）フォルダ・セット一覧がリスト表示されます。
- 「Ctrlキー」を押しながら「数字キー」を押下すると、フォルダ・セット一覧の先頭10個が選択できます（先頭 = 0、・・・10個目 = 9）。

検索条件ファイル名



- ここで指定した文言をファイル名の一部として持つファイルを検索します。
例) 指定条件：新規 **新規**テキストドキュメント .txt、など
- 最初に表示されているのはクリップボードにコピーされている文字列です。
- 「F4」を押下すると（もしくは右側の をクリックすると）過去の検索条件履歴（最大20件）が表示されます。

- ✦ 環境設定にて自動補完が有効になっていると、文頭を入力した時点で後続の文言が自動的に検索条件履歴から補完されます（設定の詳細は利用準備・3 - 検索条件の自動補完を参照）。
- ✦ また、文頭を入力した状態から「Ctrlキー」を押しながら「TABキー」を押下すると後続の文言が検索条件履歴から補完されます。同様の操作を続けることで検索条件履歴内の補完可能な候補を選択することが出来ます。
- ✦ 検索条件の履歴は、インジゲータ（タスクトレイ）アイコンの右クリックメニューにある、「検索条件の履歴を消去」で消去することが出来ます。
- ✦ 「Ctrlキー」を押しながら「数字キー」を押下すると、フォルダ・セット一覧の先頭10個が選択できます（先頭 = 0、・・・10個目 = 9）。

デフォルト・フォルダ・セット変更

このフォルダ・セットをデフォルトに設定する(D)

- ✦ 現在選択しているフォルダ・セットを、これ以降の検索におけるデフォルトにします。
- ✦ 一時的な設定ではありません。フォルダ・セット編集画面で設定したのと同じです。

検索開始ボタン

- ✦ 「検索開始」ボタンをクリックすると検索を開始します。
- ✦ 「Enterキー」を押下しても同様に検索を開始します。
- ✦ フォルダ・セット、検索条件ファイル名の両方に有効な条件が指定されていないとクリックできません（文字が淡い灰色になります）。

キャンセルボタン

- ✦ 「キャンセル」ボタンをクリックすると検索条件入力ウィンドウを閉じます。
- ✦ 「ESCキー」を押下しても同様に操作を取り消します。

簡単検索

- ✦ 簡単検索とは、通常検索とは違い検索条件を一切入力せずに行う検索のことです。
- ✦ 検索条件を指定しないこと以外は通常検索と全く同一です。
- ✦ このソフトで言う検索条件とは、フォルダ・セットとファイル名に含まれるであろう文言の2つですが、この2つについて以下の手段で決定します。
 - 【フォルダ・セット】フォルダ・セット編集画面などで決定したデフォルトのフォルダ・セットを利用する。
 - 【検索条件ファイル名】クリップボードにコピーされている文字列を利用する。

- ✚ クリップボードにコピーされているのが文字列でない場合、通常検索として検索条件入力ダイアログが表示されます。
- ✚ クリップボードに複数行（改行を含む）文字列がコピーされている場合、最初の1行（最初の改行まで）を利用します。
- ✚ 環境設定にて操作を変更していなければ「PAUSEキー」で実行できます。

簡単検索・通常検索の共通事項

検索条件ファイル名について - 検索条件の概要

- ✚ 基本的には指定したキーワードをファイル名に含むファイルが該当として挙がります。
- ✚ 拡張子を指定した場合、拡張子以外の部分（ノード名）と拡張子部分に分けて、それぞれに指定した文言を含むファイルが該当として挙がります。
- ✚ メタ文字（*：0文字以上の複数任意文字、?：1文字の任意文字）も利用できます。
- ✚ 注意点として、スペースやセミコロン（;）による複数条件指定は出来ません。

【具体例・1】

条件：新規

該当：“新規テキスト ドキュメント.txt”、“テスト新規ドキュメント.doc”など

理由：拡張子以外の部分に“新規”の文言を含んでいるため。

【具体例・2】

条件：新規.t

該当：“新規テキスト ドキュメント.txt”など

理由：拡張子以外の部分に“新規”を含み、かつ、拡張子に“t”を含んでいるため。

【具体例・3】

条件：新規*ドキュメント

該当：“新規テキスト ドキュメント.txt”、“テスト新規ドキュメント.doc”など

理由：“新規”から始まり、任意の文字を間に含みつつも“ドキュメント”が後に続く文言を拡張子以外の部分に含んでいるため。

注意事項

- ✚ 簡単検索などを利用して大量の検索を一気に開始するのはやめましょう。システムのCPUを使いきり、操作が続行できなくなります。
- ✚ 同様にネットワークドライブへの検索を複数同時に行うのは控えましょう。ネットワークが混雑して回りに迷惑をかけたりします。
- ✚ と、いいつつ、上記の注意事項は普通に利用している分には起こりえません。簡単検索を何度も執拗に起動したりしなければ大丈夫です。

検索結果について

画面の説明

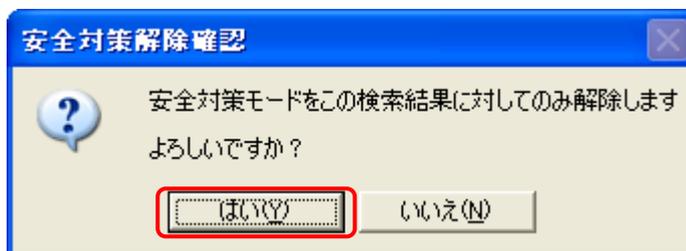


メニューの概要

- 【ファイル】開く、印刷する、エクスプローラで開く、送る、検索中断、閉じる
- 【編集】全て選択、コピー、切り取り、ファイル名のコピー、削除
- 【表示】最新表示（再検索）、各種列によるリストのソート、列位置・列幅保存
- 【ウィンドウ】ウィンドウサイズ変更、検索結果画面の切り替え

安全対策状態について

- “安全”と表示されている場合は安全対策モードとなり、切り取り・削除・移動（ドラッグ&ドロップ）が行えなくなります。
- “通常”と表示されている場合は通常モードとなり、全ての操作が行えます。
- “安全”が“通常”の文字列をマウスでダブルクリックすると相互に切り替わります。
- “安全” “通常”の場合だけ以下のダイアログで警告が表示されます。



「はい」ボタンをクリックすると通常モードへ移行します。

検索結果画面で出来ることの詳細

開く・開いて検索結果を閉じる

- ✚ ドキュメントに関連付けされているソフトでドキュメントを開きます。
- ✚ エクスプローラでダブルクリックした場合と同様です。
- ✚ “開いて検索結果を閉じる”を選択すると、開いた後に検索結果を閉じます。
- ✚ 通常は“開く”が「Enter」、 “開いて検索結果を閉じる”が「SHIFT + Enter」です。
- ✚ 環境設定で「閉じるのを標準とする」となっていると、“開く”が「SHIFT + Enter」で、“開いて検索結果を閉じる”が「Enter」となります。
- ✚ ダブルクリックでも開きます。環境設定で「閉じるのを標準とする」となっていると、開いた後に検索結果を閉じます。
- ✚ 関連付けされていないドキュメントは開けません。
- ✚ 複数選択していると、選択されている全てのドキュメントを開こうとします。
- ✚ 選択が多いからといって警告は出しません。操作は注意してください。

印刷・印刷して検索結果を閉じる

- ✚ ドキュメントに関連付けされているソフトでドキュメントを印刷します。
- ✚ エクスプローラの右クリックメニューで「印刷」を選択した場合と同様です。
- ✚ “印刷して検索結果を閉じる”を選択すると、印刷した後に検索結果を閉じます。
- ✚ 通常は“印刷”が「Ctrl + P」、 “印刷して検索結果を閉じる”が「SHIFT + Ctrl + P」となります。
- ✚ 環境設定で「閉じるのを標準とする」となっていると“印刷”が「SHIFT + Ctrl + P」で、“印刷して検索結果を閉じる”が「Ctrl + P」となります。
- ✚ 関連付けされていないドキュメントは印刷できません。また、関連付けされていても印刷コマンドの設定がされていない場合は実行できません（エクスプローラの右クリックメニューで「印刷」がない場合は印刷できません）。
- ✚ 複数選択していると、選択されている全てのドキュメントを印刷しようとします。
- ✚ 選択が多いからといって警告は出しません。操作は注意してください。

フォルダをエクスプローラで開く

- ✚ 選択しているファイルが保存されているフォルダをエクスプローラで開きます。
- ✚ 複数のファイルを選択している場合、それらのフォルダが重複なく開かれます。例えば選択している3つのファイルの内、2つが同じフォルダ、1つは違うフォルダであった場合、2つのフォルダがエクスプローラで開かれます。

送る

- ✚ 選択したファイルを、エクスプローラの右クリックメニューにある「送る」に登録されているソフトに送ります。
- ✚ 主に関連付けされているソフト以外のソフトでファイル进行处理する場合に使います。
- ✚ ただし自前実装です。超独自処理です。SendTo フォルダにあるショートカット中、リンク先が実行ファイルかフォルダのもののみ識別します。従って特殊フォルダや特殊なショートカットには対応していません（無視されます）。
- ✚ 「送る」にソフトを追加したい場合は「C:\¥Documents and Settings¥（ユーザ名）¥SendTo」にソフトのショートカットを保存しましょう（標準で隠しフォルダです）。
プロファイルの保存場所が違う場合は...プロファイル知ってれば説明は不要だね...
- ✚ 他のコマンドと違うところは、選んだファイルの数だけソフトが起動するように処理されるのと違い、選択したファイルを全て送り先のソフト（フォルダ）に一括で渡そうとします（D i f fのように2つのファイルを引数に貰うことに意義があるソフトもあるため）。
- ✚ 送り先のソフトの動作は安全対策の対象外です。

コピー・切り取り

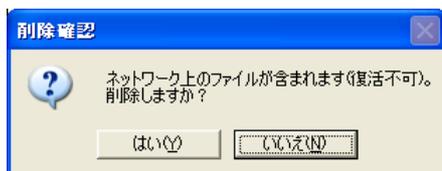
- ✚ 選択したファイルをクリップボードへコピー、または切り取りすることができます。
- ✚ コピー（切り取り）したファイルはエクスプローラなどで貼り付けられます。
- ✚ 検索条件として指定したフォルダ・セットに安全対策が施されている場合（安全対策状態が“安全”となっている状態）切り取りは行えません。
- ✚ 切り取りによってファイルが検索結果の位置から移動されたとしても、このソフトはそのことを検出しません（開くなどの操作を行った際にリストから消えます）。
- ✚ 通常、エクスプローラでコピーしたファイルは、任意の場所でショートカットの貼り付けが出来るものですが、このソフトでコピーした場合できません...。原因は調査中ですが解決するのはVer 2以降でしょう...。ドラッグ&ドロップをお願いします。

(フル)ファイル名のコピー

- ✚ 選択しているファイルのファイル名をクリップボードに文字列としてコピーします。
- ✚ フルファイル名とはパス名（フォルダ名）を含んだ名称のことです。
- ✚ ファイル名とはパス名（フォルダ名）を含まない名称のことです。
- ✚ 複数のファイルを選択している場合は、各ファイルが改行で区切られます（複数行のテキストになります）。

削除

- ✚ 選択されているファイルを全て削除します。
- ✚ ネットワーク上のファイル（ファイルのドライブがネットワークドライブであるか、フォルダ名が“ ¥ ¥ ” から始まっているもの）を含む場合、以下のダイアログが表示されます。ネットワーク上のファイルが含まれない場合は表示されません。



- ✚ ローカルのファイルはゴミ箱へ移されます。完全削除は(わざと)対応していません。
- ✚ 安全対策が施されていると削除は実行できません。

最新表示・再検索

- ✚ 同一のフォルダ・セットに同一の条件で再度検索を行います。
- ✚ リストは一旦初期化され、再度検索した際に該当になったものだけが表示されます。

各列の内容でソート

- ✚ 指定した各列の内容でリストをソートします。
- ✚ 検索が完了した時点でのリストは、見つかった順です（順不同）。
- ✚ 同じ条件で二度続けてソートすると降順になります。

列位置・列幅保存(初期化)

- ✚ 列の順序と幅は保存できます。お好みの状態にして「保存」を実行してください。
- ✚ また、保存した状態を元に戻したい場合は「初期化」を選択すれば元に戻ります。

【ワンポイント】

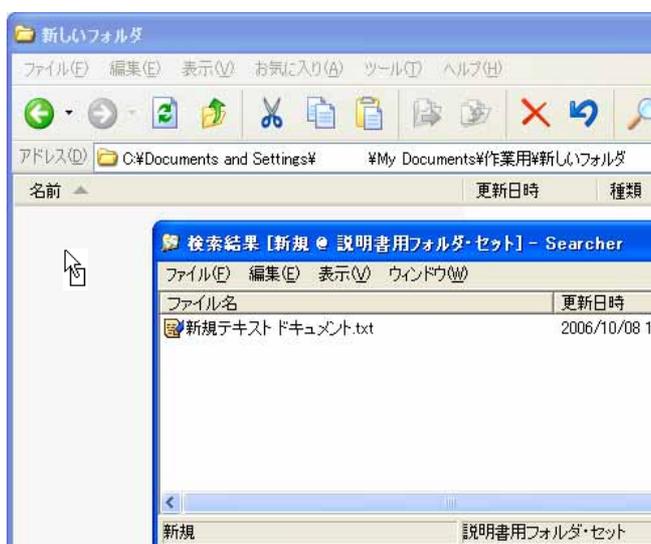
「Ctrlキー」を押しながら10キー側の「+」を押してみましょう。
各列の最大長に合わせて列幅が自動調整されます（エクスプローラでも出来る）。

検索結果ウィンドウへの操作

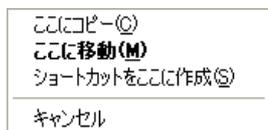
- ✚ 「Ctrlキー」を押しながら「TABキー」で複数の検索結果ウィンドウを遷移できます。「SHIFTキー」を押しながらだと逆順になります。
- ✚ 環境設定で設定を変えていなければ「ALTキー」を押しながら「PAUSEキー」を押下すると、全ての検索結果が一斉に消去されます（全て閉じる）。

ドラッグ&ドロップ

- ドラッグ&ドロップに対応しています。検索結果のファイルをつまんで（ドラッグ）ドラッグ&ドロップに対応したソフトに引き渡す（ドロップ）ことができます。
- ドラッグ&ドロップは、基本的にドロップ先のソフトにそのファイルの扱いが委ねられます。つまりドロップ後の動作はソフトによって様々です。
- ですがエクスプローラのようにファイルの操作を基本とするソフトの場合、コピー・移動、リンク（ショートカット作成）の3つを切り替えることができます。
- ドラッグを開始するとカーソルが変わります。ドラッグを開始するにはファイル名を左クリックしたままマウスを移動してください。



- ドラッグを開始した際の動作モードは、移動モードです（安全対策時はコピー）。
- ドラッグしたまま（マウスの左ボタンをクリックしたまま）、キーボードの「C t r l キー」を押すとコピーモードになります（+のマークがつく）。
- 同じくドラッグしたまま、キーボードの「A l t キー」を押すとリンクモード（ショートカットのマークがつく）になります。
- ドラッグしたまま「S H I F T キー」を押すと移動モードに戻ります。
- コピーの場合は複製がドロップ先に出来ます。移動の場合はドロップ先にファイルが移動します。リンクの場合はドロップ先にショートカットが出来ます。
- 動作モードを切り替えるキー（S H I F T、C t r l、A l t）はエクスプローラのドラッグ&ドロップとは違い押し続ける必要はありません。一度押すだけでOKです。
- 右ボタンでドラッグを行うとポップアップ・メニューが表示されます。



- ドラッグ&ドロップ先のソフトの動作については安全対策の範囲外です。

フォルダ・セット編集について

登録の基本的な手順は「利用準備・1」で説明したので、ここでは画面内のボタンなどの動作詳細紹介を行います。

フォルダ・セットの編集

- ✚ フォルダ・セットそのものを編集します。
- ✚ フォルダ・セットの順番決定、追加・削除・編集などを行います。

フォルダ・セット一覧

フォルダ・セット名	フォルダ数	スレッド数	安全対策

- ✚ 【フォルダ・セット名】フォルダ・セットの名称です。
通常検索の際に、検索条件の1つとしてこの名称が表示されます。
- ✚ 【フォルダ数】フォルダ・セット内に登録されているフォルダの数です。
- ✚ 【スレッド数】フォルダ・セットに割り当てられた最大検索スレッド数です。0は最大を示します（フォルダ数が30以下ならその数、それ以上は30）。
- ✚ 【安全対策】フォルダ・セットに対して安全対策が施されているかです。
- ✚ 【】選択している（紺色になっている）行を1行上へ移動します。
通常検索の際に、検索条件として表示される際の順序になります。
上位10個は「Ctrl + 数字」で直接指定できるので特に重要です。
- ✚ 【】選択している（紺色になっている）行を1行下へ移動します。

ボタン詳細



- ✚ 【追加】フォルダ・セットを新規に追加します。フォルダ・セット内フォルダ編集へ移行します。
- ✚ 【複写追加】現在選択しているフォルダ・セットの内容をコピーして、新規追加分としてフォルダ・セットを編集します。

- ✚ 【編集】現在選択しているフォルダ・セットを編集します。
キーボードの「SHIFT+Enter」でも同様に編集できます。
一覧表のダブルクリックでも同様に編集できます。
- ✚ 【削除】現在選択しているフォルダ・セットを削除します。
削除の確認はしません！誤って削除してしまった場合は編集をキャンセルしてください。

メニュー詳細

- ✚ 基本的に同じ文言のボタンと動作は変わりありません。唯一違うのは「デフォルトに設定」があるだけです。
- ✚ 【デフォルトに設定】現在選択しているフォルダ・セットを、検索条件のデフォルトとして設定します。具体的には後述の「デフォルトのフォルダ・セット」に選択しているフォルダ・セットが設定されます。

デフォルトのフォルダ・セット

デフォルトのフォルダ・セット(F)



- ✚ 通常検索で最初に表示される、または簡単検索で利用されるフォルダ・セットを設定します。
- ✚ 通常検索の検索条件入力画面でも設定できます。

フォルダ・セット内のフォルダ編集

- ✚ フォルダ・セット内の諸情報を編集します。

フォルダ一覧

フォルダ・セット内のフォルダ一覧(F)

フォルダ	下位検索
(対象フォルダが指定されていません。追加ボタンで追加してください。)	

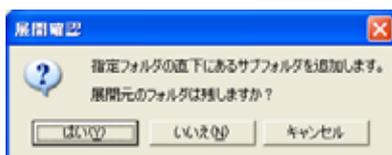
- ✚ 【フォルダ】検索対象のフォルダです。このフォルダ1つにつき1つの検索スレッドが実行されます。

- ✚ 【下位検索】検索対象フォルダ配下のサブフォルダを検索するかです。
 - 【する】サブフォルダを検索します。
 - 【しない】サブフォルダは検索しません。指定したフォルダ直下にあるファイルだけが検索結果としてリストアップされます。
- ✚ 【 】現在選択しているフォルダを1行上へ移動します。
最初の30個までが優先して実行されます。
- ✚ 【 】現在選択しているフォルダを1行下へ移動します。
- ✚ ダブルクリックするか、キーボードの「Enter」を押下すると「フォルダ・パス」の編集へ移行します。

ボタン詳細



- ✚ 【追加】フォルダ一覧に空欄を1行追加します。
- ✚ 【一括登録】クリップボード中に保存されている文字列を、フォルダ・パスから入力したものとして一括登録します。
 - 一括登録となっている理由は、クリップボード中の文字列が改行で区切られている複数行の場合、その行数分一覧に追加されるからです。
 - 下位検索は「する」で登録されます。
- ✚ 【展開】現在選択しているフォルダ・パス配下のサブフォルダを一括登録します。この際に展開元のフォルダを残すか確認してきます。



- 【はい】展開元のフォルダ・パスは一覧に残ります。ただし下位検索は「しない」になります。
- 【いいえ】展開元のフォルダは一覧から消去されます。
- 【キャンセル】展開をキャンセルします。
- ✚ 【削除】現在選択しているフォルダ・パスを削除します。

メニュー詳細

- ✚ 基本的に同じ文言のボタンと動作は変わりありません。

フォルダ・パス(下位フォルダ検索)

フォルダ・パス(P)

参照(R)

下位のフォルダも検索する(S)

- 【フォルダ・パス】現在選択されている行の検索対象フォルダを編集できます。キーボードの「Enterキー」を押下すると一覧表へフォーカスが移ります。編集を行うと即時に一覧表へ反映されます。
- 【参照】ダイアログを表示してフォルダを選択します。選択したフォルダのパスが「フォルダ・パス」部分に入力されます。
- 【下位のフォルダも検索する】指定フォルダ配下のフォルダ検索を行うか指定します。
 - 【チェックON】指定フォルダ以下のサブフォルダも検索対象とします。
 - 【チェックOFF】指定フォルダ以下のサブフォルダは検索対象としません。

フォルダ・セット属性

フォルダ・セット名称(N)

最大稼働調査スレッド数(T)

0

安全対策(削除・移動・切り取り禁止)を施す(Y)

- フォルダ・セットに対する属性を編集します。
- 【フォルダ・セット名称】フォルダ・セットに対する名称です。この名称が検索条件として表示されます。空入力も出来ませんが、混乱するだけなので判別しやすい名称を入力しましょう。
- 【最大稼働調査スレッド数】フォルダを調査するスレッドを最大で何本同時に走らせるかを指定します。0を指定すると30（フォルダ数がそれ以下ならその数）と同意です。余り多すぎても遅いことが・・・10未満でも十分早いです。
- 【安全対策を施す】このソフト上での、削除・移動・切り取りを禁止します。サーバなどの共有ファイルに対する操作の安全性を確保するためのものです。このフォルダ・セットで検索された検索結果に対しての初期値を設定します。
 - 【チェックON】削除・移動・切り取りを禁止します。
 - 【チェックOFF】削除・移動・切り取りを禁止しません。

！【安全対策について】

このソフト上での操作における、削除・移動・切り取りを禁止しているだけです。「送る」や「ドラッグ&ドロップ」でファイルを渡した先のソフトの動作までは、保障しません（ファイルを削除するソフトに「送る」を行う、など）

連絡先・その他

免責事項・おことわり・ライセンスについて

- ✚ 以下の条件を承諾できる場合のみ、ご利用ください。
 - このソフトを利用したことによって生じた、いかなる被害・損害にも作者は責任を負わないこととします。
 - バグ修正を含む、改善・要望などに応じる義務はないこととします。
 - 作者は質問などのお問い合わせに応じる義務はないこととします。
- ✚ このソフトはシェアウェアです。継続してご利用いただく場合は課金をお願いします。期限制限はございませんが、制限版の機能で十分という方でも継続利用される場合は課金をお願いいたします。
- ✚ ライセンスはユーザ様御一人につき、1つとさせていただきます。同一ユーザのPC台数制限は設けません（自宅&職場での利用は1ライセンスでOK）。
- ✚ 課金は[ベクターのシェアウェア・レジ](#)にてお願いいたします。ただし下記の通り一括購入などをお考えの場合はこの限りではございません。連絡ください。
- ✚ 法人などによる一括ライセンス購入は下記連絡先にメールでお願いいたします。10ライセンス以上の一括購入では、割引も考えさせていただきます。
- ✚ 二次配布は、ベクターよりダウンロードしたファイルそのままをお願いします。パスワード解除した状態での配布（正式版の二次配布）はご遠慮ください。
- ✚ 雑誌などの紹介は大歓迎です。ファイルの配布は上記条件に従ってください。その点を守っていただければ承諾の必要はございません（連絡はいただけると嬉しいです）。

作者への問い合わせ

- ✚ メールでのみ受け付けます。WEB ページなどの開設は売れ行き次第です(^_^)；
- ✚ 操作方法の質問などにはお答えできません。説明書をよく読んでください。
- ✚ 基本的にバグ対応はなるべく行いたいと考えますが、私が勤め人であること、私自身の技術力の無さ、から即時対応などは出来ない場合があります。
- ✚ 基本的に要望・改善は次期バージョン（Ver 2）へ持越しです。このバージョンはバグ修正しか行わないつもりです。
- ✚ 感想などは返事が出来るかわかりませんが、大歓迎です(^_^)

連絡先

searcher@mail.707.to

ハンドルネーム：KEI

最後に

ダウンロード、並びにご利用、誠にありがとうございます。初めてのシェアウェアで至らぬ点など多いと思いますが、皆様の検索作業が少しでも軽減すれば幸いです。

次期バージョンはG R E P機能を正規表現対応で搭載予定です。今後とも機能強化は図って行きたいのでよろしくお願いいたします。

K E i